

歴史と文化 (History and Culture)

現代日本語の諸問題 (Topics in Contemporary Japanese)

仙波 光明・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 月 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本語学』)

【授業の目的】日本語の特質を理解し、日本語に関するさまざまな問題に対して、正確な知識にもとづき、正しい道筋で考え、適切な評価・判断が下せるようになることを目的とする。

【授業の概要】日本語とはどんな言語なのかを、以下の諸観点から概観し、文字・表記に関わる主題を中心に、日本語の特質を検討する。1) 諸言語に例を見ない複数文字体系の使用、2) 日本語の文字の機能、文字と発音との関係、3) 日本語の語彙と表記の関係、4) 日本語の変化と、「正しい」日本語・「乱れた」日本語、等々。

【キーワード】現代仮名遣い、送り仮名、漢字仮名交じり文、日本語の語種と表記、日本語の乱れ

【到達目標】

1. 日本語 (特に表記) について、正確な知識を身につける。
2. 日本語に関する問題を検討するための調査方法を知る。
3. 正確な知識に基づいて、国語問題、日本語を巡る諸問題に対する意見を表明できる。

【授業の計画】

1. 授業の進め方の説明、日本語はどれほどの勢力を持っているのか。
2. 諸言語の中での日本語の特殊性、それは文字・表記。
3. まずは、発音から見た日本語 (1) 古代から中世にかけて
4. 発音から見た日本語 (2) 現代日本語
5. 日本語表記の諸問題 1 日本語はどのようにして文字を獲得したか。
6. 日本語表記の諸問題 2 仮名遣い (なぜ必要になったのか)。
7. 日本語表記の諸問題 3 現代仮名遣いの要点。
8. 日本語表記の諸問題 4 漢字仮名交じり表記に必要な送り仮名。
9. 表記の諸問題 5 外来語の表記の問題 (付:ローマ字表記は簡単か)。
10. 表記の諸問題 6 語種の別 (和語・漢語・外来語・混種語) と日本語表記。
11. 表記の諸問題 7 日本語の文字の役割 (発音との関係)
12. 文字が変えた日本語 (漢字制限のために作られた新語など)
13. 「肉汁 (にくじゅう)」をなぜ「にくじる」と読んでしまうのか等。
14. その他 (内容未定。授業の進展状況によって決定する。)

15. 試験

16. 補足など

【教科書】参考書:『新しい国語表記ハンドブック』三省堂ほか。その他、随時紹介する。

【成績評価の方法】小テスト 50%、期末試験 50%の割合で評価する。

【再試験の有無】無

【受講者のメッセージ】この授業では、毎回小テストを行う。また、カードに授業に関する質問・感想・疑問等を書いて提出してもらおう。このデータ (出席状況、質問、感想) は、次回の授業資料に記すかたちで受講生に公開される場合がある。ただし、受講者数などの状況によって不可能になるかもしれない。なお、このシラバス作成から授業開始までに 8 ヶ月の時間があるので、内容及び進度に若干の変更・修正がありうる。詳細については、第 1 回目の授業であらためて説明する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221049>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 仙波 (2319, 088-656-7117, senba@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL